

## 第3部 名刺交換会・懇親会

登壇者との意見交換、新たな人脈形成、提携先の発見等、地元の経営者が一同に会するこの機会をぜひ活用下さい。

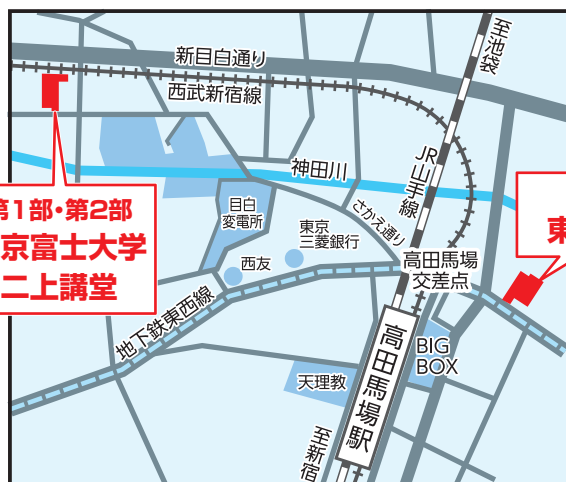
17:20～18:20 東京三協信用金庫本店9階ホール  
(17:00受付開始・ウェルカムドリンク)

会場内では、お近くの信用金庫職員(支店職員)がご要望に合わせ、貴社に合った商談・相談相手をご紹介します。

※会費2,000円となります。原則、事前申込み・お支払いとなります。

※スペースの関係上、定員を100名とさせていただきます。

### 会場へのアクセス



- JR山手線「高田馬場駅」下車徒歩3分
- 東京メトロ東西線「高田馬場駅」下車徒歩3分
- 西武新宿線「高田馬場駅」下車徒歩3分

第3部  
東京三協信用金庫本店

※当日はこのパンフレットと名刺をお持ち下さい。

## 参加申込フォーム

申込締切：9/11(木)

- ①下記の必要事項をご記入いただき、このページをコピーして下さい。
- ②このパンフレットをお渡した信用金庫職員(本部職員、各店舗長)にコピーを直接、もしくはFAX(03-3200-7189)にてお渡しください。

企業・団体名： \_\_\_\_\_  
 記入者名： \_\_\_\_\_  
 住所： \_\_\_\_\_  
 電話： \_\_\_\_\_ E-mail： \_\_\_\_\_

第1部、第2部

参加人数： \_\_\_\_\_ 名  
 参加者名： \_\_\_\_\_ 様 \_\_\_\_\_ 様 \_\_\_\_\_ 様

第3部(名刺交換会・懇親会)

参加人数： \_\_\_\_\_ 名  
 参加者名： \_\_\_\_\_ 様 \_\_\_\_\_ 様 \_\_\_\_\_ 様  
 領収書宛名： \_\_\_\_\_

※本申込フォームにご記入いただいた個人情報等は、本フォーラムの運営に必要な諸連絡・確認以外の目的には使用致しません。

〈主催者使用欄〉 店： \_\_\_\_\_ サ： \_\_\_\_\_

## 東京三協信用金庫 ビジネスフォーラム 2014

地域資源を新たな角度から捉える! ⇄

# 中小企業のビジネス戦略

日時 2014年9月18日(木) 14:00～18:20

受付 13:30～ 名刺交換会 17:20～

会場 第1部・第2部 東京富士大学 二上講堂 参加費 無料

(東京都新宿区下落合1-9-7  
西武新宿線・東京メトロ東西線・JR線 高田馬場駅から徒歩5分)

第3部 東京三協信用金庫本店 参加費 2,000円

定員 500名 (原則予約制ですが、定員に余裕があれば当日受付も可能です)

主催 東京三協信用金庫

特別協力 東京富士大学

後援 新宿区/東京商工会議所新宿支部/  
日本政策金融公庫新宿支店/信金中央金庫/  
一般社団法人東京都信用金庫協会/  
一般社団法人新宿観光振興協会/  
高田馬場銀座商店街振興組合

申込方法 裏面の「参加申込フォーム」よりお申込み下さい。

### プログラム

開会挨拶 (14:00～14:15)

第1部 基調講演 (14:15～15:15)

「ヒントは足元にある！」  
中小企業経営者が活かすべき“地の利”とは  
江上 剛氏 (作家・コメンテーター)

第2部 “ビジネスアイデア”発掘サミット (15:25～16:50)

「地域の特性を活かした事業戦略」

毎回好評の企画も3回目となりました。今回は少し視点を変えて「地域の資源をいかに事業に活かすか」という課題に挑みます。プランを発表するのは、東京三協信用金庫主催の経営塾Terra小屋に所属する若手経営者と現役大学生(特別協力の東京富士大学の強化サークル「ビジネス研究塾」の学生)です。

第3部 名刺交換会・懇親会 (17:20～18:20)

登壇者との意見交換、新たな人脈形成、提携先の発見等、地元の経営者が一同に会するこの機会をぜひ活用下さい。



**第1部 基調講演 (14:15～15:15)****「ヒントは足元にある！  
中小企業経営者が活かすべき“地の利”とは」**

江上 剛氏

&lt;プロフィール&gt;

作家・コメンテーター。

1977年早稲田大学政治経済学部政治学科卒業後、旧第一勧業銀行(現みずほ銀行)入行。本部、高田馬場・築地各支店長を経て2003年3月に退行。97年第一勧銀総会屋事件に遭遇し広報部次長として混乱収拾に尽力。その後のコンプライアンス体制に大きな役割を果たす。この事件を元にした映画「金融腐蝕列島」(原作:高杉良、主演:役所広司)のモデルとなる。銀行員としての傍ら、2002年「非情銀行」で小説家デビュー。

**第2部 “ビジネスアイデア”発掘サミット (15:25～16:50)****「地域の特性を活かした事業戦略」**

住む人・学ぶ人・働く人、さまざまな目的で人が行き交う街、高田馬場を題材に、新たなビジネスのカタチを企画提案します。

今回の課題は、

**伝統文化・和文化を活かした観光事業の創出**   **地域ブランドにつながる食ビジネスの創出**

高田馬場を知り尽くす二人の特別ゲストの解説付きで、若手経営者(経営塾「Terra小屋」5期生)と、現役大学生(東京富士大学)が独自の視点からアイデアを発表します。

参加者の皆さんも、ご自身が働く地域にどんな隠れた資源が眠っているのか、どう掘り起こせばビジネスが活気づくのか、一緒にお考え下さい。

**コーディネーター紹介****山川 悟氏 (東京富士大学経営学部 教授)**

&lt;プロフィール&gt;

マーケティング論、ブランド論、創造性開発などを担当。

広告会社での実務経験を経て、2008年4月より現職。

著書に『コンテンツがブランドを創る』『不況になると口紅が売れる』などがある。

**第2部 “ビジネスアイデア”発掘サミット****課題1 「伝統文化・和文化を活かした観光事業の創出」****課題設定の背景**

- ・「歌舞伎町」「神楽坂」だけではなく、高田馬場にも豊富な観光資源がある。
- ・2020年東京での五輪開催が決まり、外国人観光客を増やす施策が増えてくる見込みである。

**提案における留意点**

- ・日本人にとってはごく当たり前のことでも、外国人には日本特有の魅力となり、“クール”だと感じることもある。
- ・焦点を当てる地域文化を明確にし、観光客が滞在して楽しめるツアープランとして提案する。併せて、外国人が買っていききたいと思うような高田馬場みやげを提案する。

**特別ゲスト紹介 / 原 緋彩恵氏 (和ごころ講座「花鳥風月」, 「和Café」主宰)****～ 活動内容 ～**

茶道や染色、合気道といった日本の伝統文化が息づく高田馬場を拠点に、若い人や外国人に和の心を伝えている。また、和食を通じて「おもてなし」の日本文化を体験できる講座を企画している。

**第2部 “ビジネスアイデア”発掘サミット****課題2 「地域ブランドにつながる食ビジネスの創出」****課題設定の背景**

- ・高田馬場にはラーメンを始めとして、ユニークな食文化が存在している。(ミャンマー料理、手塚治虫のリクエストでできたという上海焼きそばのお店等)
- ・「新大久保といえば韓国料理」と言われるような、地域と結びついた食ブランドは定着していない。

**提案における留意点**

- ・高田馬場を都内でも有力な“食文化発信地区”にするためのビジネスプランを提案する。その際に高田馬場みやげの開発案を提示する。

**特別ゲスト紹介 / 向井 直也氏 (高田馬場新聞 編集長)****～ 高田馬場新聞とは ～**

高田馬場の情報を発信するWEBマガジン。ユニークな視点で人・お店・企業・文化・歴史・食・イベントなどの魅力を切り出し、スパイシーな語り口で伝えて行く地元有力紙である。

ホームページ <http://babashinbun.com/>